



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月24日

上場会社名 フジオゼックス株式会社 上場取引所 東証第二部
 コード番号 7299 URL <http://www.oozx.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 健三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 服部 孝樹 TEL (0537)-35-5873
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,331	—	528	—	589	—	372	—
20年3月期第1四半期	5,126	△0.2	225	△40.9	255	△41.0	121	△48.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	18	11	—	—
20年3月期第1四半期	5	88	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第1四半期	23,234		18,787		80.9		914	20
20年3月期	23,145		18,984		82.0		923	80

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 18,787百万円 20年3月期 18,984百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7 00	—	8 00	15 00
21年3月期(予想)	—	7 00	—	8 00	15 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	10,350	—	750	—	850	—	550	—	26	76
通期	21,450	△1.5	1,700	△7.2	1,900	1.0	1,230	0.3	59	85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第1四半期	20,559,500株	20年3月期	20,559,500株
-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	9,637株	20年3月期	9,637株
-------------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第1四半期	20,549,863株	20年3月期第1四半期	20,549,913株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、継続的な原油・原材料価格の高騰による影響や米国経済の減速等により景気減速懸念が広がり、先行きに不透明感が増しています。このような経済状況にありながら、国内自動車(四輪車)生産台数はKDを含む輸出増加に支えられ、増加いたしました。

国内自動車生産台数の増加を受け、当社グループの総売上高は対前年同期比4.0%増加し連結売上高は、5,331百万円となりました。しかしながら自動車各社からの強い原価低減要請、原油・原材料価格の高止まり等により、引き続き厳しい状況にあります。

また、損益面については、材料価格が高位で推移するも前期対比で下落したことにより営業利益は528百万円(前年同期比134.4%増)、経常利益は589百万円(前年同期比130.6%増)、四半期純利益は372百万円(前年同期比208.0%増)となりました。

当第1四半期の販売状況を事業部門別に示すと次のとおりです。

区 分	金額(千円)	前年同期比
製品事業部門	4,948,120	9.7%
商品(機械等)事業部門	33,510	△88.6%
技術事業部門	131,608	△13.8%
流通・サービス・その他事業部門	217,859	30.3%
総合計	5,331,099	4.0%

① 製品事業部門

主力のエンジンバルブは、KDを含む輸出売上の順調な推移により、売上高は、4,948百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

② 商品(機械等)事業部門

関連会社向け機械設備販売の減少により売上高は、34百万円(前年同期比88.6%減)となりました。

③ 技術事業部門

海外関連会社の一部地域での売上減少により、ロイヤリティ収入は132百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

④ 流通・サービス・その他事業部門

売上高218百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状況の状態

当第1四半期連結会計期間末の資産は、23,234百万円と前連結会計年度末に比べ、90百万円増加しました。

負債については、4,448百万円と前連結会計年度末に比べ287百万円増加しました。これは主にその他の中に含まれている未払費用の増加によるものです。純資産については18,787百万円と前連結会計年度末に比べ197百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は80.9%(前連結会計年度末は82.0%)となり、1株あたり純資産は914円20銭(前連結会計年度末は923円80銭)となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度に比べ481百万円増加し、当第1四半期連結累計期間には3,989百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は816百万円(前年同期比20.9%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益568百万円の確保(前年同期比312百万円増加)によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は152百万円(前年同期比30.2%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

③ 財政活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は164百万円(前年同期比0.3%増)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績につきましては、本資料の公表時点では、平成20年4月25日に公表した業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、損益に与える影響はありません。
- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,440,373	2,827,849
受取手形及び売掛金	5,744,645	5,784,881
商品	3,531	4,785
製品	974,624	1,000,693
半製品	61,487	76,847
原材料	458,794	411,387
仕掛品	581,745	521,136
その他	1,300,268	1,368,189
貸倒引当金	△ 8,353	△ 8,416
流動資産合計	12,557,114	11,987,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,094,150	3,172,990
機械装置及び運搬具	2,568,643	2,710,902
土地	2,310,358	2,321,736
その他	186,214	153,329
有形固定資産合計	8,159,364	8,358,956
無形固定資産	41,069	41,399
投資その他の資産		
その他	2,505,329	2,785,212
貸倒引当金	△ 28,456	△ 28,256
投資その他の資産合計	2,476,872	2,756,956
固定資産合計	10,677,305	11,157,311
資産合計	23,234,419	23,144,661

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,826,393	3,145,480
未払法人税等	193,295	87,051
賞与引当金	57,713	31,079
その他	1,258,070	778,998
流動負債合計	4,335,470	4,042,608
固定負債		
退職給付引当金	50,859	50,226
役員退職慰労引当金	61,389	67,836
固定負債合計	112,248	118,062
負債合計	4,447,719	4,160,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	13,411,756	13,203,938
自己株式	△ 5,248	△ 5,248
株主資本合計	19,194,608	18,986,790
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	212	226
為替換算調整勘定	△ 408,119	△ 3,026
評価・換算差額等合計	△ 407,908	△ 2,800
純資産合計	18,786,700	18,983,991
負債純資産合計	23,234,419	23,144,661

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	5,331,099
売上原価	4,359,250
売上総利益	971,849
販売費及び一般管理費	
報酬及び給与手当	155,960
賞与引当金繰入額	4,224
退職給付費用	11,718
役員退職慰労引当金繰入額	5,825
その他	266,428
販売費及び一般管理費合計	444,154
営業利益	527,694
営業外収益	
受取利息	1,746
受取配当金	3,120
持分法による投資利益	54,692
助成金収入	32,158
その他	31,137
営業外収益合計	122,854
営業外費用	
支払利息	842
固定資産除却損	51,481
その他	8,922
営業外費用合計	61,245
経常利益	589,303
特別損失	
過年度損益修正損	21,274
特別損失合計	21,274
税金等調整前四半期純利益	568,029
法人税、住民税及び事業税	205,448
法人税等調整額	△ 9,636
法人税等合計	195,812
四半期純利益	372,216

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	568,029
減価償却費	276,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	137
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,633
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 28,710
退職給付引当金の増減額(△は減少)	633
前払年金費用の増減額(△は増加)	△ 2,476
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 6,447
受取利息及び受取配当金	△ 4,866
支払利息	842
持分法による投資利益(△は益)	△ 54,692
有形固定資産処分損益(△は益)	38,881
売上債権の増減額(△は増加)	35,474
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 113,345
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 317,076
その他	505,593
小計	924,711
利息及び配当金の受取額	10,082
利息の支払額	△ 842
法人税等の支払額	△ 117,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	816,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 151,913
有形固定資産の売却による収入	2,950
無形固定資産の取得による支出	△ 1,868
その他	△ 1,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 152,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△ 164,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 164,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18,834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	480,633
現金及び現金同等物の期首残高	3,508,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,989,281

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社グループは自動車用エンジン部品を主体とする動弁系部品メーカーであり、エンジン用部品部門における売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	351,872	243,472	595,344
II 連結売上高(千円)	-	-	5,331,099
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.6	4.6	11.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …………… 米国

(2) その他の地域… 英国、タイ、韓国、台湾、中国他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	5,125,643
II 売上原価	4,386,783
売上総利益	738,860
III 販売費及び一般管理費	513,746
1 荷造運送費	91,295
2 報酬及び給与	194,361
3 賞与引当金繰入額	9,248
4 福利厚生費	34,561
5 退職給付費用	27,428
6 役員退職慰労引当金繰入額	8,113
7 賃借料	19,142
8 交際費	9,058
9 旅費交通費	15,486
10 研究開発費	7,467
11 その他	97,587
営業利益	225,114
IV 営業外収益	62,345
1 受取利息	2,575
2 受取配当金	2,640
3 賃貸料収入	13,106
4 為替差益	20,503
5 原子力立地給付金	21,155
6 その他	2,365
V 営業外費用	31,962
1 支払利息	1,970
2 固定資産除却損	2,871
3 持分法による投資損失	20,567
4 賃貸料収入原価	6,304
5 その他	249
経常利益	255,497
特別利益	1,000
1 貸倒引当金戻入額	1,000
税金等調整前四半期純利益	256,497
法人税、住民税及び事業税	16,019
過年度法人税等	△ 13,907
法人税等調整額	133,519
四半期純利益	120,865

「参考資料」

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	256,497
減価償却費	264,786
貸倒引当金の増減額(減少は△)	△ 1,066
賞与引当金の増減額(減少は△)	52,900
役員賞与引当金の増減額(減少は△)	△ 28,000
退職給付引当金の増減額(減少は△)	△ 10,384
前払年金費用の増減額(増加は△)	△ 11,066
役員退職慰労引当金の増減額(減少は△)	△ 57,540
受取利息及び受取配当金	△ 5,215
支払利息	1,970
持分法による投資利益	20,567
固定資産除却損	2,871
売上債権の増減額(増加は△)	714,212
棚卸資産の増減額(増加は△)	△ 70,274
仕入債務の増減額(減少は△)	△ 68,975
長期未払金の減少額(減少は△)	△ 3,584
その他	231,709
小計	1,289,408
利息及び配当金の受取額	21,406
利息の支払額	△ 1,991
法人税等の支払額	△ 277,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031,145
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 107,606
無形固定資産の取得による支出	△ 6,930
その他	△ 2,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 116,937
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△ 20,000
配当金の支払額	△ 143,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 163,849
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,011
V 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	748,348
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,077,037
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,825,385

「参考資料」

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

当社グループは自動車用エンジン部品を主体とする動弁系部品メーカーであり、エンジン用部品部門における売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	406,082	438,941	845,023
II 連結売上高（千円）	-	-	5,125,643
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.9	8.6	16.5

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米 …………… 米国
 (2) その他の地域… 英国、タイ、韓国、台湾、中国他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。